

## 《気になるお子さん支援の具体的課題》

- 支援の場をどのような人材で運営するか。
- 障がいや発達障がいに対する無理解で支援へのハードルが高いことをいかに解消するか。
- 出生児の約1割といわれている個別に支援を受けることが望まれるお子さんを、いかに支援の場につなげるか。
- 療育の必要を認識しない保護者の場合、障がい児の施設となると拒否されるケースが多く、場所の選定に配慮が必要。
- 多くの発達障がいの場合、支援開始は5歳では遅いといわれており、いかに乳児期で発見し、いかに保護者が就労を開始しやすいお子さんの就園前に支援を開始するか。
- 保護者(特に母親)のスキル習得が大切であるため、保護者の育児知識不足や育児不安の解消をいかに行うか。
- できるだけ多くの日常生活の場面を教室内で設定していくことが望まれる。

# 《親子育成支援事業「ジョイジョイ」》

## ① 目的

- 生活経験を通して基本的な生活習慣を身に付ける。
- 友達と触れ合いながら、社会性の芽生えを育てる。
- お子さんへの関わりを学びよりよい親子関係をつくる。

## ② 対象： 発達のに気になる幼児と保護者

## ③ 定員： 各教室10組 参加費-昼食代200円

## ④ スタッフ： 保育士3～4名、保健師、臨床心理士

## ⑤ ステップアップ教室：週1回 22回(5～6ヶ月)コース

- 月～金： 一般 ・ 土： 保育園児、幼稚園児
- 保育園で現在6教室開設（9時半～12時半）
- あいさつ、親子活動、片付け、トイレ、食事等

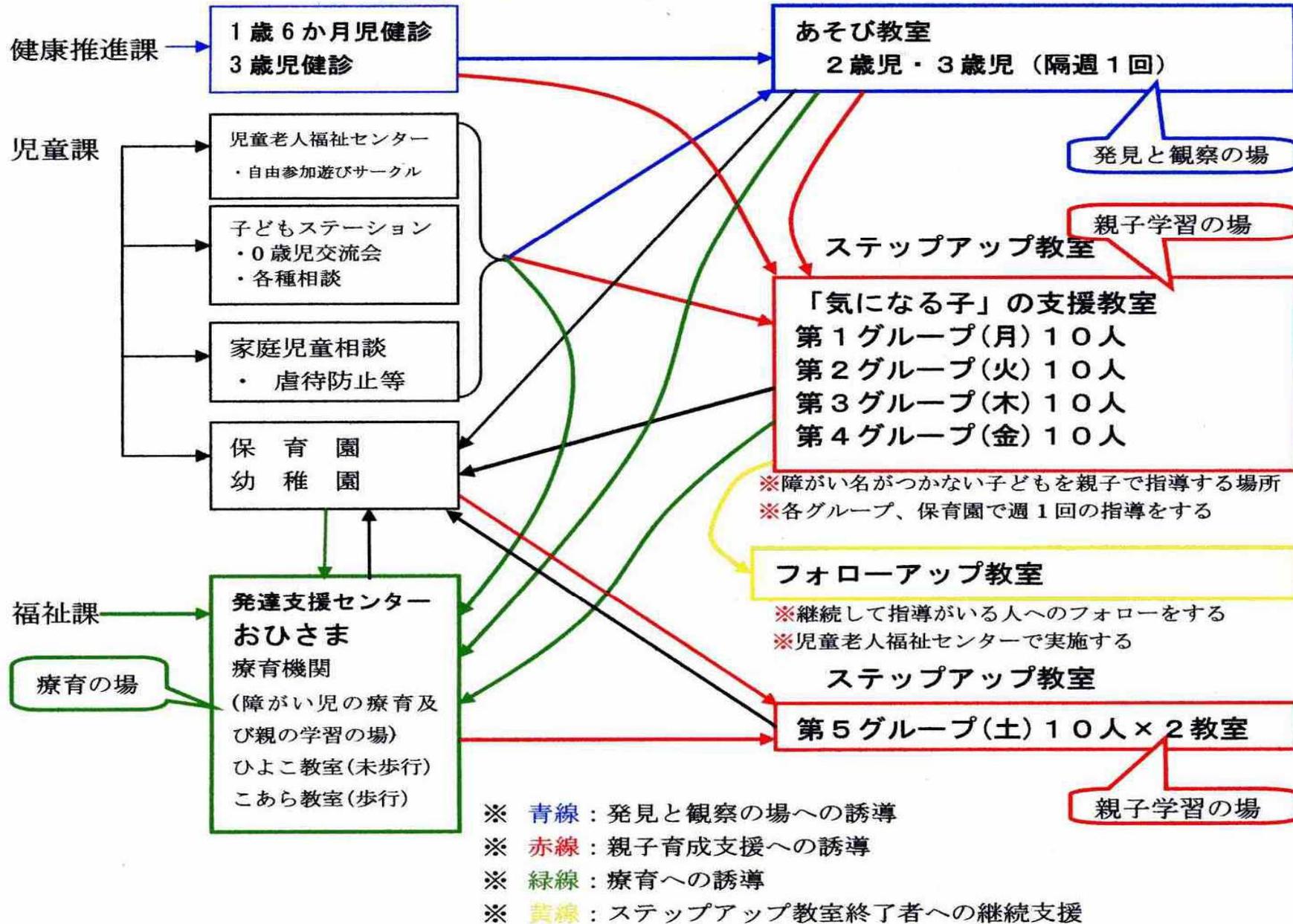


## ⑥ フォローアップ教室：ステップアップ教室修了者のフォロー

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

# 「気になる子」の子育て支援計画

※赤枠と黄枠部分が親子育成支援教室



# 親子育成支援教室 ジョイジョイの実施状況



自由遊び



親子遊び(主活動)



大府市における気になるお子さんへの子育て支援

# 《ペアレントトレーニングの実施》

## 〈対象〉

- 1歳から3歳のお子さんを持つ保護者で子育てに困難さを感じている方（1講座10名程度）

## 〈方法〉

- お子さんの特性を理解し、親自らが意識を変えながら子育ての仕方を学んでいく。また、他の保護者との意見交換の中から自分の努力を認識していく。
- 『ほめ育てプログラム』

## 〈講座内容〉

- 5回講座 90分/回 無料
- 講師：中京大学社会学部教授 辻井正次氏  
⇒ 将来的には保育士で対応できるよう準備中

※ 国のモデル事業を活用（19年度は市民向けの特別講座（4回）も実施）

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

# 《個別の教育支援計画「すくすく」の実施》

- 小学校や保育園等において、日常生活の中で個別の支援を必要とするお子さんの情報を記録し、小学校や中学校での継続的な支援につなげる。
- 支援を必要とするお子さんのうち、保護者の了解を得て記録を作成。
- 保育指針にある保育要録との連携をとり様式を作成。
- 19年度データを20年度小学校へ送付。

## いっしょにはじめましょう

お子さんの個性に合わせた計画的・継続的な支援

### ささえる

実態や特性に合わせた支援によって、特別な教育的ニーズをもつお子さんと、子育てに携わる保護者の方を支えます。

### そだてる

乳幼児期から中学校卒業まで、個別の教育支援計画を用い、保護者の方といっしょにお子さんにかかわる者・機関が適切な役割分担と連携のもとに、一貫して計画的にお子さんを育てます。

### つながる

保育園・幼稚園・小学校・中学校が連携することで、お子さんの実態・特性や教育的支援の目標・内容等の情報を共有し、継続的に適切な支援をめざします。さらに、保育・教育、保健、福祉、医療、労働等にかかわる機関が相互につながり、お子さんを支援します。

## すくすく

個別の教育支援計画



大府市・大府市教育委員会

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《気になるお子さんの子育て支援・今後の課題①》

- 市全体での支援体制の維持・拡充
- 発達障がいを取り巻く環境を理解し、市全体をコーディネートできる人材の継続的な確保
- 支援の場面での専門性を持った人材(臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、医師など)の確保と育成
- 早期発見体制の充実
- 気になるお子さん親子を取り巻く環境(支援する各組織)での考え方と言葉の共通化(連携のとれた支援体制の確立)
- 個々の家庭で家族を含めたトータルな支援体制の整備促進
- 支援場所の移行時における連携体制の確立
- 自立支援協議会との連携(お子さんのライフステージに応じた一貫した支援体制の整備)

## 《気になるお子さんの子育て支援・今後の課題②》

- 発達障がいを含む子どもの発達に対する正しい理解の普及

- ・発達障がいなどが、個々の育ちの特性であることを啓発
- ・親子育成支援事業やペアレントトレーニングがお子さん  
に与える好影響を積極的にPR
- ・保護者の方々へお子さんの状況を正しく伝え、生育の現  
状と見通しを適切に伝えることにより、保護者の方々の  
安心と覚悟につなげる

- 相互理解に支えられた**共生社会の実現**という思想を根底に持  
ち続けること

背景:大府市役所庁舎

ご清聴ありがとうございました

大府市における気になるお子さんへの子育て支援